

武庫川の自然環境の課題について

2013.12.15

兵庫県立大学 客員教授
服部 保

生物多様性

多種多様な生物がお互いに
様々な関係でつながって
生きていること

絶滅危惧種(動物)

ドジョウ, メダカ, スズムシ, クワカミキリ,
カトリヤンマ, クツワムシ, オオミノガ,
タガメ, ニホンヒキガエル, ニホンアカガエル,
カジカガエル, イモリ, ヤモリ, スッポン,
ヤマドリ, カッコウ, アオゲラ, ヤマトシジミ,
マテガイ, ハマグリ

イモリ



ドジョウ



モリアオガエル



オオミノガ



スッポン



絶滅危惧種(植物)

- カザグルマ(湿地)
- サギソウ(湿地)
- ノハナショウブ(湿地に普通)
- トキソウ(湿地)
- サツキ(溪流辺)
- イワチドリ(崖)
- アオヤギバナ(溪流辺)
- オグラコウホネ(流水)
- ヒメウラジロ(崖)
- カワラサイコ(河原)

カザグルマ



ノハナショウブ



サギソウ



トキソウ



サツキ



イワチドリ



アオヤギバナ



ヒメウラジロ



カワラサイコ



キキョウ



種の絶滅速度

時代	速度(種/年)
恐竜時代	0.001
1600~1900年	0.25
1900年	1
1975年	1000
1975年以降	1600

文献 N. マイヤース(1979)

100倍から1000倍という説もあり

日本産植物種の絶滅

	1997年	2000年 8月	2007年 8月	2012年 8月
絶滅・野生絶滅	18	25	41	42
絶滅危惧IA類	443	564	523	519
絶滅危惧IB類	382	480	491	519
絶滅危惧類	489	621	676	741
	1332	1690	1731	1821

絶滅危惧種の割合 2012年8月

$$1821種 \div 7000種 \times 100 = 26\%$$

絶滅危惧種	1821種
日本産野生植物	約7000種

絶滅危惧種の割合

哺乳類	約200種	24%
鳥類	約700種	13%
八虫類	97種	19%
両生類	64種	22%
貝類(陸・淡水)	約1000種	25%

レッドデータブック

国, 都道府県, 市町村

1989年~

兵庫県	1995年
	2003年
	2009年~

大阪府	2000年
神戸市	2010年

種の保存法

1992年

野生生物種の保全の方向

貴重種の保全



生物多様性の保全

環境と開発に関する国連会議
(地球サミット)

1992年6月 リオ・デ・ジャネイロ
生物多様性に関する条約

生物多様性

- 種多様性
- 生態系の多様性
- 遺伝子の多様性

生物多様性国家戦略

1995年10月31日

地球環境保全に関する関係閣議会議
決定

生物多様性基本法

2008年6月6日

生物多様性府県戦略

千葉県 2008年3月

兵庫県 2009年3月

大阪府 -

生物多様性市町戦略

神戸市	2011年3月
明石市	2011年3月
西宮市	2012年3月
宝塚市	2012年3月
加西市	2013年3月
伊丹市	2014年3月
三田市	未定
尼崎市	未定

生物多様性の危機の構造

- 第一の危機
人間活動や開発による危機
- 第二の危機
人間活動の縮小による危機
- 第三の危機
人間より持ち込まれたものによる危機
- 地球温暖化による危機

生物多様性の危機

- 第一の危機

人間活動や開発による危機

生物多様性の危機

- 第二の危機

人間活動の縮小による危機

生物多様性の危機

- 第三の危機
外来種

武庫川の自然

クスノキの大木



アキニレ林



アキニレ林



ヤナギの倒木



ヤナギの倒木



カワラサイコ



武庫川溪谷



武庫川溪谷のサツキ



武庫川溪谷



武庫川溪谷



カギカズラ



ヨコグラノキ



オギ, マコモ



オギ, マコモ



オグラコウホネ



外来種

■ 第三の危機

セイタカアワダチソウ



セイバンモロコシ



シナダレスズメガヤ



下流部のカワラサイコの保全

- 外来種の除草

人間活動の縮小

■ 第二の危機

樹木の繁茂



樹木の繁茂



武庫川溪谷の照葉樹林化



武庫川溪谷の照葉樹林化



萌芽した幹の 大径木化



武庫川溪流の植物群の保全

- 岩壁の樹木の伐倒
- 雑草類の刈り取り

武庫川流域の生物多様性を
守るために

生物多様性武庫川戦略の
策定が必要